

第3号様式

平成23年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A23	取組 名称	丹後地方の山間地集落における「自然とうまくつき合う防災マップ」の作成と活用に関する実践的研究
研究代表者：生命環境科学研究科		職・氏名：助教・三好岩生	
研究担当者： 京都府立大学（高濱淳一郎，田淵敦士（敬称略）） 外部協力者（中井巧治氏，永久 徹氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府丹後土木事務所，NPO 法人里山ネットワーク世屋 など			
【研究活動の要約】			
本研究では，丹後地方の山間地集落を事例として，自然災害の危険範囲予測や家屋の耐震性能調査を行い，それらの結果を踏まえて，災害危険箇所や避難ルート，互助体制等の防災情報を明解に示した防災マップを作成した。防災マップを作成する過程においては，まず既存の資料解析や多くの聞き取り調査に基づいて原案を作成した上で，住民・行政が参加したワークショップを開催して意見交換を行い，作成方法に関するノウハウ・留意点を明らかにした。			
【研究活動の成果】			
本研究の成果として，対象地における降雨条件に応じた土石流危険箇所の分布範囲や，丹後型民家の耐震性能を明らかにし，それらを踏まえて実用的な防災マップを作成した。 防災マップの作成においては，具体的な成果として対象地における実用的な防災マップを提示するとともに，その過程において，有効な防災情報の種類や収集手法，あるいは意見を集約する上での課題などに関する知見が得られた。また，ワークショップには多くの参加者があり，意見交換を通じて緊急時の連絡体制や災害弱者の支援策等の災害時の課題についての認識を共有する機会とすることができた。			
【研究成果の還元】			
ワークショップ「世屋の防災を考える」開催（H23/11/19，NPO 法人里山ネットワーク世屋事務所「ぶーたん」にて，参加約30名） 上世屋地区の「自然とうまくつき合う防災マップ」を公民館等で公開予定			
【お問い合わせ先】		生命環境科学研究 砂防学研究室 助教：三好岩生 Tel: 075-703-5645 E-mail: i_miyosi@kpu.ac.jp	

参考（イメージ図、活動写真等）



ワークショップの様子1



ワークショップの様子2